

吾妻山噴気活動

大穴新火孔 (W-6 および W-6b) の噴気温度は大きく変化しているが、火山ガス組成から推定される見かけの平衡温度は 500 度前後で安定しており (図 1)、地下深部から高温火山ガスの供給が継続している事を示している。火山ガスには高濃度の SO₂ および HCl 等が含まれている (図 2)。2014 年 5 月 7 日の SO₂ カメラ観測では SO₂ 放出率は約 25 ton/day (8 - 55 ton/day) であった。

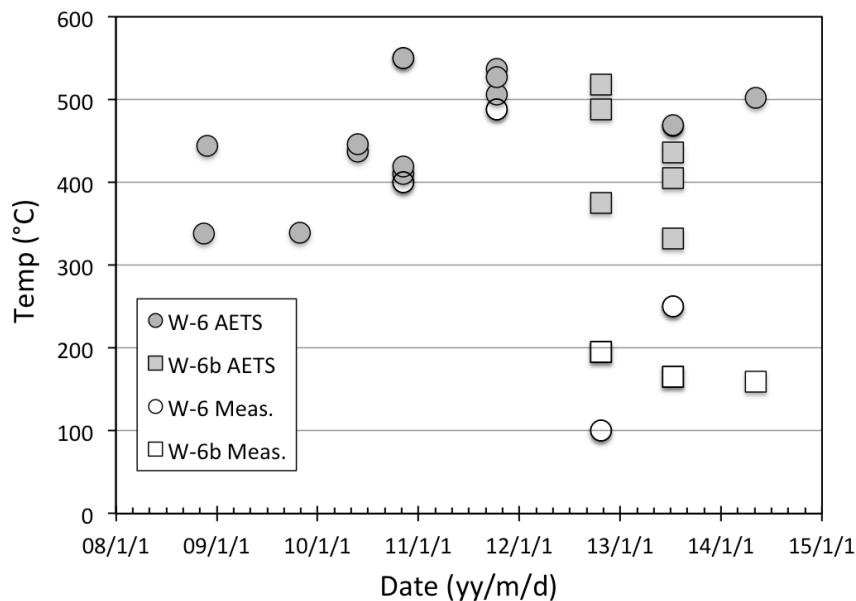


図 1 噴気孔測定温度 (Meas.) および見かけの平衡温度 (AETS) 変化 ($2\text{H}_2\text{O} + \text{H}_2\text{S} = 3\text{H}_2 + \text{SO}_2$)

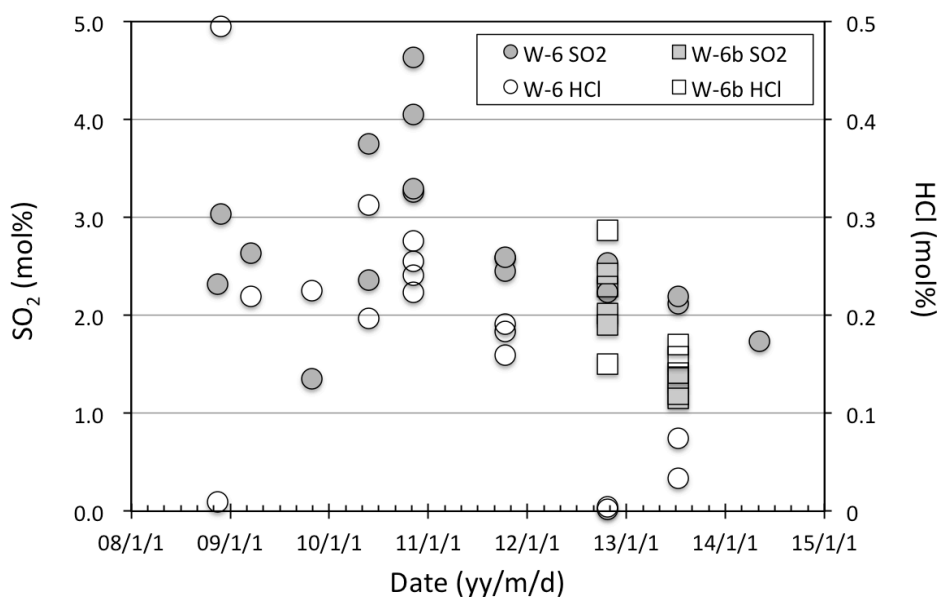


図 2 火山ガス中の SO₂ および HCl 濃度変化